

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	親子の居場所 Clover	
代表者名	遠藤さち子	
連絡先	TEL : 090-5184-2672 FAX :	E-mail fs.clover.588@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	不登校の親子のための居場所活動
事業の目的	本団体は居場所活動の運営を軸に、子ども・若者が主体となる学びや成長の場を創造し、子どもたちの多様な生き方を支援する。 とりわけ不登校の子供とその保護者へ、学びと遊びの環境をサポートすることを通して孤立しがちな不登校当事者同士がつながる場を作り、「親子が豊かで充実した生活を送り幸せに生きられる」ようにすることを目的とします。また、経済的不安があるなど、どんな事情の子供へも必要なサポートができるよう「誰も拒まない居場所」として地域と共に生きづらさを抱えた親子の受け皿になることを目指す。
事業の具体的内容	1) 多様な学び場を求める子どもたちへの体験学習 2) 不登校の親の会の開催 3) 不登校の子供たちのための卒業式の開催
活動の開始から完了までの流れ	9 月 講師へ出張講座依頼 10 月 ロースイーツ講座 12 月 肉まん講座 1 月 親の会・進級進学スペシャル 2 月 親の会・よくわかる不登校勉強会 3 月 卒業お祝い会 4 月～5 月 報告書作成

活動の成果と教訓	1) 多様な学び場を求める子どもたちへの体験学習 「食育」を意識した講師に依頼し、出張講座を開催した。家庭でもチャレンジしづらい料理に挑戦する機会となった。完成するまでの過程や食材の変化なども興味を持ち学びに繋がる良い経験となった。 インフルエンザの流行などにより、講師や運営側の体調不良など、予定を変更せざるを得ない日もあり、開催季節を考慮した計画が必要など今後の教訓となった。 2) 不登校の親の会の開催 仙台市中心部と泉区周辺で月に一度のペースで情報交換、勉強会、当事者同士の交流の場を作ることができた。元当事者の経験談や進学について講師を招いて学ぶ機会を作ったことで、保護者の「不登校への理解が深まった」「進学についての不安が小さくなった」など感想を聞くことができた。親の心が安定することは子どもが家で安心して休息でき、回復することに繋がる。荒井の居場所に通う保護者が減った分（子どもの預かりが増えている）、このような機会はとても大切だと感じた。 集客面では、SNS など不登校関連の情報がたくさん取れるようになり、直接足を運んでもらうことに苦戦しているので、改善方法を考えねばならない。 3) 不登校の子供たちのための卒業式の開催 どんな状況の子どももあたたかい眼差しで見守られる経験が子どもたちの心身の回復の助けになります。地域の方との繋がりや活動を通じた交流を大切にしてきたクローバーらしい見送りの会となった。 自立へと前向きな気持ちと、不安な気持ちに寄り添う場として、これからも地域に応援してくださる大人がいるということを伝える場ができたこと、その様子を地域の市議と共有できたことは未来への種まきとなったように思う。 子どもたちからは感謝の言葉と新しい環境への前向きな言葉を聞くことができた。 予算がないことを承知の上で開催しているが（自己資金から調達）継続して開催するには資金の確保も課題となっている。
今後の展望など	まずは居場所活動を継続すること。 不登校の子どもはもちろん、放課後の子どもたちにも居場所が必要で、斜めの関わりが子どもたちの心の土台作りに有効だと感じているので、放課後の居場所活動から子ども食堂の開催などニーズに合わせてできることから少しずつ取り組んでいきたい。

	現場を回すことだけで手いっぱいとなり、継続的なスタッフの確保とそれに伴う予算の確保はこの3年間で自走するまでに至っておらず課題が残ったが、引き続き課題解決に向けて動いていきたい。 不登校をゼロにするのは不可能で、この先も増え続けるだろう。いっそ不登校第一位の宮城県だからこそ、「不登校になったとしても“大丈夫”な地域」になるよう当事者だけでなく地域の人を巻き込んでいきたい。 この3年間、活動を続けてこられたのは福祉活動助成金のおかげです。これまでのご支援に心から感謝いたします。
--	---

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	100000	
自己資金	1230	
合計	101230	

■ 支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
交際費	講師謝礼 (①~②)	90000	60400
会場費	施設利用料 (①~⑥)	47000	22830
交通費	ボランティア交通費 (講師アテンド会場設営) (①~③)	24000	18000
合計		161000	101230

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー（郵送）

③ 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送）

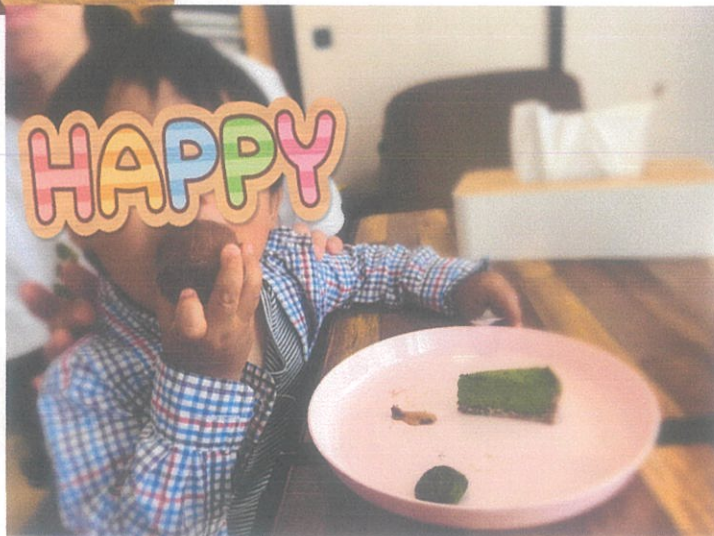
*写真は郵送とメールで送ってください。

Clover 活動写真

2024 年 10 月～2025 年 3 月



【講座の様子（子どもの居場所）】肉まん・ロースイーツ



【講座の様子（親の会）】 中小企業活性化センター・ブラウ会議室



【親の会】 南光台市民センター・水の森市民センター



【卒業お祝い会】アライデザインセンター





ふとうこうセミナー

『よくわかる不登校』

子どもが「学校に行きたくない」と言い出してから、
気づけば毎日が不安と心配の連続……。

「どう声をかければいいんだろう」「このままずっと引きこもってしまうのかな」
そんな苦しさを抱えていませんか？

不登校の悩みは親として本当につらいものです。周りに相談しても、どの情報が正しいのか分からず、ますます戸惑ってしまうことも。だからこそ今回、**「よくわかる不登校、親として今できること」**と題して、不登校経験もあり、全国で多数の講演実績をもつNPO法人D.Live代表の田中洋輔さんが直接お話しします。

2025年 **2月22日** **土**

• 日時：2025年2月22日（土）10:00～17:00

• 場所：ダイアパレス仙台中央9階(911号室)

（事前申し込み制）

— 内容 —

- 第1部（10:00-12:00）「不登校のよくある勘違い」

昼夜逆転、親の責任、スマホやゲーム、引きこもりへの不安など、つい思い込みがちな勘違いと本当のところを分かりやすく解説します。

- 第2部（13:00-15:00）「不登校の4つの段階」

不登校には4つの段階があり、時期によって関わり方が大きく変わります。今お子さんがどの時期なのかを知り、「今、親としてできること」「やってはいけないこと」を具体的に学びましょう。

- オプション個別面談（15:00-17:00）

講師：NPO法人D.LIVE代表 田中洋輔

滋賀の昼TRY部やオンラインフリースクールを運営し、子どもたちの自己肯定感を高める支援に注力。「たとえば分かりやすく、話がおもしろい」「決して責めないのが救われる」と保護者から好評で、全国各地の講演や教育機関での研修実績も多数。自らの苦しみを乗り越えた“当事者”かつ“専門支援者”として信頼を集め、YOUTUBE『不登校わが子にできること』などでも情報を発信中。

